

# 特殊塗装のビジネスチャンス捉えてほしい

## 職人向け特殊塗装塾、参加者募集 荒木俊成氏

特殊塗装の技を極めた伝説の塗装職人・荒木俊成氏 (ARACO 会長) が後進の育成を目的に「第3回『特殊塗装』すご技職人養成塾」を開講する。「特殊塗装の仕事が増え続けており、現役の塗装職人さんたちにこの機会を捉えてほしい」と講座への参加を呼び掛ける。開講の思い、講座の内容や特殊塗装のビジネスチャンスについて話を聞いた。

◇

—特殊塗装講座の開催が決まったと聞きしました。

「ええ、今年4月13日～15日に京都府八幡市の弊社の作業場で行います」

—どのような内容になりますか。

「昨年の春と秋に続いて今回が3回目になりますが、基本的には前回までの内容を踏襲しています。初日に『雲』や『木目描き』を通じて、塗装職人さんが普段されているストレートペイントとの違いを修得していただき、2日目に石目やエイジングなど現場で頻度の高い技法、最終日は現場での更に実践的な技法といった内容です(末尾に開催概要)」

—最初に「雲」を習うのは理由があるのですか。

「フワフワした雲の感じや陰影、厚みの感じを筆(刷毛)の動かし方だけで表現します。ある意味、特殊塗装の要素が凝縮された技法で、普通の塗装ではNGとされる“カスレ”や“スケ”がポイントになります。職人さんが慣れているストレートペイントとの感覚の違いを実感してもらおう意味で『雲』を最初に持ってきています」

—これまでの2回はどのような方が参加されたのですか。

「30名近い人に参加していただきましたが、ほとんどが現役の塗装職人さんですね。『仕事で特殊塗装の引き合いがあったけど技術がないので断った』『特殊塗装を身につけ、より高いレベルの仕事がしたい』などの参加理由が多かったように思います。あと、塗料販売店さんからの参加もありました」

—参加者の反応はいかがでしたか。

「『ARACOさんの講座は、塗装職人としてより実践的な技法が学べる』と言っておられたのが印象的です」

—どういことでしょうか。

「特殊塗装は正解のない世界なのでつい凝ってしまいがちになりますが、ビジネスとして成り立たせることが大事です。お客さんの満足を得ながら同時に採算ベースにも乗せる。引き算の発想というか、職人さんが普段から慣れているVE提案的なアプローチを盛り込んでいる点もポイントかもしれません」

—とはいえ、特殊塗装の世界は専門のペンターの活躍が目立ちます。

「そうですね。特殊塗装の現場では、ベース部分を塗装職人が塗り、最後の



特殊塗装だけをエイジングなどのペンターが担当するパターンが多いです。ただ、下地から仕上げまで一貫して塗装職人が行える方が合理的だという考えが私にはあります。下地に問題があった場合など、現場対応力といった面でもそう言えます。建設現場で働く職人だからこそそのVE提案力とお客さんを満足させる特殊塗装の技能が合わされば、より高い価値を市場に提供できます。そこを目指したいですね」

—そもそも荒木さんはなぜこの講座を始めたのですか。

「以前、日本塗装工業会の事業でデコラティブペイントの講師として各地に赴き、参加された職人さんたちの『特殊塗装を学びたい』という思いを肌で感じていました。その経験から、そうした職人さんが潜在的にも多いのではないかと思います。開講することにしました。それと、増え続ける特殊塗装の需要に対して、職人の数が足りない問題が起こっており、特殊塗装の職人の育成が急務になっていることがあります」

—特殊塗装の需要が増えているのですか。

「ええ、この10年ほど増え続けていますし、向こう10年も続くでしょう。当社も注文に対応しきれず、仕事を断らざるを得ない状況が続いています」

—なぜそんなに活況なのですか。

「特殊塗装の大きな需要先にテーマパークの塗装がありますが、人気のテーマパークでアトラクションの増設が続いていますし、他にも大きなテーマパークの開設が全国的に計画されて

おり、この先も仕事が増えます。更にホテルや店舗など商業建築でも特殊塗装の需要が増えています」

—店舗関係もですか。

「一言で言うなら美的感覚の変化でしょうか。以前はシートやフィルムなどの既製品で納めていたデザイン仕上げに対して、より本物らしさや手仕事感のようなものが求められるようになりました。防火の関係でコンクリートしか使えないけれど木に見せたい、鉄板を皮のように仕上げたい、既製品では表せない温もりや趣きがほしいなど設計やデザイナーさんを通じて市場の変化をひしひしと感じます」

—特殊塗装が盛り上がっているこの機を捉えたいですね。

「私は塗装職人ですから、同じく特殊塗装への思いを共有できる職人さんにこの仕事に進出してもらい、機会を捉えてほしいと思っています。やりがいや報酬も含めて、おもしろい仕事ですから。特殊塗装の職人養成塾への参加をお待ちしています」

—ありがとうございました。

※荒木俊成氏=ARACO (旧社名・荒木塗装)を1980年に創業。一般建築塗装のかたわら独学で特殊塗装の技法を修め、この分野に進出。テーマパークや高級ホテル、ブランドショップなど商業建築のフィールドで著名な特殊塗装会社であり、職人。黄綬褒章、建設マスター、現代の名工などにも輝く特殊塗装のレジェンド。

※第3回「特殊塗装」すご技職人養成塾の概要▶開催日:令和5年4月13日～15日▶場所:京都府八幡市・ARACO作業場▶費用:基礎コース(初日のみ)2万円、プロコース①(初日と2日目)3万5,000円、プロコース②(3日間)5万円▶定員:5～15名。

申込方法は同社HP:www.araco.jp

# 安全・安心をプラスして、すべての人が快適に過ごせる生活へ。

壁紙の色やつやはそのままに。壁紙に直接塗装することができます。

- 塩化ビニールクロス面(※)にも直接塗装可能になり、無色透明薄膜コーティングのため既存のビニールクロスの色柄を損ないません。
- 消臭機能を追加。生ごみやアンモニア臭などお部屋の中の嫌な臭いを低減します。 ※撥水加工された壁紙など、機能性壁紙では付着が弱くなるため、ご使用はお避けください。



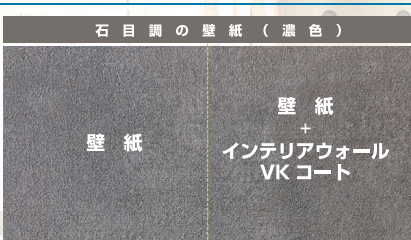
室内用高機能(抗ウイルス・抗菌・消臭)コーティング剤

プロテクトン

PROTECTON®

インテリアウォール VKコート

壁紙への塗装



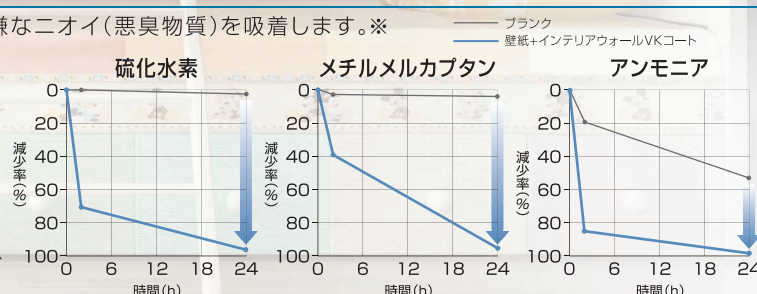
無色で透明のコーティング剤のため、壁紙の色やつやは変化しません。

消臭性

塗装後は、銅の働きによって塗膜面が室内の嫌なニオイ(悪臭物質)を吸着します。\*

<p><b>硫化水素</b> 腐った卵の臭い</p>	<p><b>メチルメルカプタン</b> 腐ったキャベツ たまねぎの臭い</p>	<p><b>アンモニア</b> 汗や尿の臭い</p>
--------------------------------	---	--------------------------------

※悪臭物質の吸着効果には限度があります。  
※すべての悪臭物質に対して効果が得られるものではありません。  
【試験条件】※当社社内試験による  
10cm×10cm角の壁紙上の塗膜試験片(2枚)を5Lバッグに入れ、3L所定濃度の臭気ガスを充填、所定時間後の悪臭物質濃度を測定。  
(初期濃度)アンモニア:100ppm、メチルメルカプタン:8ppm、硫化水素:4ppm



※全てのウイルスや菌あるいは特定のウイルスや菌に効果を保証するものではありません。また、病気の予防や治療効果を示すものではありません。 ※室内の空気中のウイルスや菌を抑制するものではありません。

SIAAマーク「抗ウイルス加工」は ISO21702 法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。 SIAAマーク「抗菌加工」は ISO22196 法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

注意事項 抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。SIAAの安全性基準に適合しています。製品上の特定のウイルスの数を減少させます。